

令和5年9月27日

保護者様

丹波篠山市立大山小学校

校長 山本 真

令和5年度 丹波篠山市立大山学校 学習や生活に関する学力向上プラン

本校は、全国学力・学習状況調査（6年生）及び丹波篠山市学力・生活習慣状況調査（5年生）、生活習慣状況調査（3・4年生）の結果をもとに授業改善等を行うため、「学習や生活に関する学力向上プラン」を作成しました。学力の定着状況等についてご理解いただき、子どもたちの学習や生活習慣の改善、さらに学校の教育活動にご支援いただければありがたいと思います。

【調査結果の概要】

全体的な状況

6年生対象に行われた全国学力・学習状況調査（国・算）、5年生対象に行われた丹波篠山市学力状況調査（国・算）では、どちらの学年も教科や単元によって目標値及び全国平均を上回る結果と下回る結果がでており、得意な分野と不得意な分野の差が顕著に見られました。

国語科

6年生については、必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいこと
の中心を捉える「話すこと・聞くこと」が高い正答率になっています。また、資料に書かれている内容
として適切なものを選択する問題は全員正答でした。しかし、複数の情報から自分の考えをまとめる
ことが苦手で、中でも図表やグラフを使いながら自分の考えが伝わるように書き表す「書くこと」に課
題が見られました。

5年生については、既習学年に配当されている漢字を正しく書く「知識及び技能」が高い正答率にな
っています。漢字事典の使い方に関する問題は全員正答でした。また、物語や説明文の内容を読み取る
「読むこと」が高い正答率になっています。しかし、指定された長さで文章を書き表したり、相手意識
をもって文章を書き表す「書くこと」に課題が見られました。

算数科

6年生については、「数と計算」に関する問題の正答率が高い結果となっています。また、二次元の
表から、読み取ったことの根拠となる数の組み合わせを選ぶ「データの活用」が高い正答率になってい
ます。しかし、三角形の意味や性質の理解や具体的な数値が示されていない複数の三角形の面積につ
いて必要な情報を見だし、その理由を記述する「図形」に課題が見られました。

5年生については、四角形の性質で対角線のあるものを選ぶ「図形」や折れ線グラフや二次元表を読
み取ることができる「データの活用」が高い正答率になっています。しかし、わり算・計算のきまりや
小数の位を揃える計算、億と兆・概数の表し方に関する「数と計算」に課題が見られました。

学習生活習慣について

3・4年生では、項目によって全国平均を上回る結果と下回る結果がでています。3年生では「基本
的な生活習慣」の項目において数値が高く、規則正しい生活を送れていると感じているようです。4年
生では「先生のささえ」の項目において数値が高く、多くの児童が先生との信頼関係が築けていること
や認められていると感じているようです。5年生ではほとんどの項目において、6年生では全項目に
おいて全国平均を上回っていることがわかりました。両学年とも、「他者からの評価」の数値が高く、
クラスの中で一人ひとりが自分の良さを理解し、認めてもらえる場があると感じているようです。

課題と対応

この結果をもとに、「国語科」「算数科」においてこれまでの学力向上の取組を真摯に見つめ直し、今後、学校として「授業の工夫」・「基礎的内容の習得」等を課題として一層の取組を進めていきたいと考えています。そのため、結果の分析を通して『子どもたちに必要な力は何か』、その力をつけるために『どのように授業を改善していけばよいのか』という授業改善の視点を検討しました。

国語科

目的や意図に応じて、自分の考えを支える理由や根拠を明確にして書く力の育成

- ・自分が書いた文章を読み返したり、感想や意見を友だちと読み合ったりして、文章を推敲する学習に取り組んでいきます。
- ・授業の中において、お互いの考えを伝え合う対話の時間を設定し、聞き合う学習に取り組んでいきます。
- ・字数制限、キーワード、接続詞・修飾語を使うなどの「条件付き」の文章の書き方を学べる機会を増やしていきます。
- ・「日常的な作文指導」「短時間完結型作文指導」などの書くことへの習慣化に取り組んでいきます。
- ・読書環境を整えて低学年から活字に触れる機会を増やし文章や読書に向う姿勢を育てていきます。
- ・自己学習力を身につけられるようにけてぶれ学習法等を通した日々の取組を続けていきます。

算数科

問題の内容を整理し、問題を解決する際に必要な情報を主体的に見いだしたり、適当な数値を当てはめたりして考える力の育成

- ・思考過程を言葉にしたり文章に書いたりする言語活動の場面を授業の中に取り入れていきます。
- ・お互いの考えを聞いたり自分の考えと比較しながら聞いたりする対話の時間を設定し、聞き合う学習に取り組んでいきます。
- ・基礎学力となる学年相当の計算力を身につけられるよう計算スキルの向上を目指していきます。
- ・月に一度、長文問題や図形の特徴に関する問題に取り組んでいきます。

学習・生活習慣

これまで同様、子どもたちの学習や生活習慣が崩れないように家庭との連携を密に図っていきます。また、今後も対話を意識した学習形態やけてぶれ学習法の取組も含め、クラブ活動や総合的な学習の時間において、地域の方との関わりなど、様々な場面で様々な人との関わりを増やししながら、お互いを認め合い、児童自身に自信が持てるような機会を設けていきます。

【保護者の皆様へのお願い】

本プランを提案したねらいは、児童の実態や課題を明確にし、課題解決に向けて学校と家庭が連携して学力の向上に取り組むことにあります。

今後も学校と家庭が連携し、子どもたちの更なる成長を見守っていきたいと考えております。

ご家庭におきましては、日々の学習等で子どもたちの励みとなる声かけを引き続きお願いいたします。